実習内容
ならびに
スケジュール

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月	9:00	オリエンテーション	秘書	9:00	耳鼻咽喉科医局
	9:15	頭頸部画像診断	寺田　貴田　篠田	9:15	耳鼻咽喉科外来
	9:15	甲状腺エコー実習	寺田　篠田　中村	9:45	耳鼻咽喉科外来
	13:00	手術見学	寺田　貴田　美内	10:00	手術室
	13:00	国試演習	齋藤	15:00	カンファレンス室
	16:00	耳鼻咽喉科総論	都築	16:00	カンファレンス室
火	9:00	症例実習	任	9:00	カンファレンス室/病棟
	13:00	症例検討会　発表準備	任	13:00	カンファレンス室/PC室
	14:20	症例発表の準備	伏見	14:20	カンファレンス室
	15:00	症例検討会　プレゼンテーション	都築　寺田　美内	15:00	カンファレンス室
水	8:45	手術見学(1班)	都築　貴田　齊藤	8:45	手術室
	9:00	外来見学(2班)	伏見　美内　斎藤	9:00	耳鼻咽喉科外来
	13:00	手術見学(2班)	都築　篠田　伏見	13:00	手術室
	13:00	外来見学(1班)	大田	13:00	耳鼻咽喉科外来
木	9:00	外来見学（1班）/レポート作成（2班）	都築　任	9:00	耳鼻咽喉科外来/ＰＣ室
	10:30	外来見学（2班）/レポート作成（1班）	美内　岡崎	10:30	耳鼻咽喉科外来/ＰＣ室
	13:00	聴力検査実習	担当医（輪番制）	13:00	聴力検査室
	13:40	味覚検査実習	梅本	13:40	カンファレンス室
	14:10	顔面神経実習	辻	14:10	カンファレンス室
	15:10	鼻・SAS講義	岡崎	15:10	カンファレンス室
	15:45	耳講義	美内	15:45	カンファレンス室
	16:15	頭頸部癌講義	篠田	16:15	カンファレンス室
金	9:00	外来見学（1班）/レポート作成（2班）	寺田　斎藤	9:00	耳鼻咽喉科外来/ＰＣ室
	10:30	外来見学（2班）/レポート作成（1班）	貴田　篠田	10:30	耳鼻咽喉科外来/ＰＣ室
	13:00	レポート作成	主治医	13:00	PC室
	14:00	小児難聴・補聴器実習	奥中	14:00	カンファレンス室
	14:40	平衡機能検査	大田	14:40	耳鼻科外来
	15:30	総括	大田	15:30	カンファレンス室

◎　診療科名：　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

◎　責任者氏名：　都築　建三主任教授

◎　指導教員氏名：　任　智美講師

◎　実習概要

1.カンファランス、2.教授回診、3.病棟実習、4.クルズス、5.模擬実習（耳鏡・鼻鏡の使い方）、6.模擬実習（喉頭ファイバー）、7.外来見学、8.手術見学、9.味覚検査、平衡機能検査、顔面麻痺検査の実習、１０．臨床研究参加などを行い、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎　各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

・耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における主要疾患についてアセスメントができる。
・耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の患者の基本的診察法ができる。
・基本的な検査ができ、所見が読める。
・治療計画を立てることができる。
・患者の性格、社会的背景や立場を理解し、対応ができる。

◎　事前学修内容(時間)

・聴力検査の所見が読めるようにすること（30 分程度）
・３年次の講義資料をよく復習すること（1 日）

◎　評価方法

（知識、技能、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をルーブリックで明示）。

	S	A	B	C
知識	代表的な疾患について治療計画を説明できる。	代表的な疾患についてアセスメントができる。	代表的な疾患の概略を説明できるがアセスメントや治療計画をたてることができていない。	一部の疾患についてのみ概略を理解している。
	担当疾患に関して適切な考察の中に独創的な意見が述べられる。	国家試験レベルの内容は十分理解しており、担当疾患に対する考察できる。	担当疾患に対する考察はしているが、一部不十分である。	担当疾患に対する十分な考察ができない。
技術	解剖を理解し、医師と同レベルに適切に手技ができ、所見が説明できる。	基本的な診察を実施し、適切な所見をとることができる。	基本的な診察ができる。	適切に患者さんから話を聞くことができるが診察が適切にできていない。
	後輩に診察法や検査を指導できる。	必要な検査を実施し、結果を説明できる。	必要な検査を実施できるが、所見の解釈ができない。	必要な検査実施に関する理解がされていない。
態度	論文を調べ、引用することができる。	積極的で質問もよくする。	ノルマはこなしているが、やや消極的	消極的で質問がない。
	患者さんからも信頼されている。	患者さんと適切な関係が築ける。	患者さんの観察（特に術後）が不十分である。	患者さんとのコミュニケーションがとれず不信感を抱かせる。

◎　パフォーマンス評価

- 火曜日午後のカンファランス時のプレゼンテーション
- 症例レポート内容

◎　中間評価とフィードバック

金曜日の午後に総括を行う際にフィードバックを行う。

◎　注意事項

・月曜日が休日の際には火曜日の集合時間が変更になる可能性がある。
・教授回診やカンファランスの時間が変更になる場合があるので、逐一、医局のボードを確認すること。
・初日は 9 時までに 8 号館 5 階の耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局で鍵と PHS を受け取り、耳鼻咽喉科・頭頸部外科カンファランスルームに集合しておくこと。
・密になることを避けるため、病棟や手術室など決められた人数で出入りすること。
・2 班が重複するときはそれぞれの班で異なる実習内容となることがあるため注意すること。